

- ・ 創造する生徒
- ・ 心豊かな生徒
- ・ 鍛える生徒

「としょかんライオン」

校長 佐藤 和 男

木々の緑がとても鮮やかになり、さわやかな季節になりました。4月に入学した1年生も中学生として1ヶ月が過ぎようとしています。部活動も本入部となり、学習面や生活面で中学生らしさがだんだん表に出てきました。さらに、西中生らしく何事にも積極的にチャレンジしてほしいと思います。

さて、先日の4月25日（火）に「子ども読書の日」にちなんで、絵本の読み聞かせ生徒朝会を行いました。「子ども読書の日」は、2001年12月に「子どもの読書活動推進法」が公布・施行され、国と自治体が子どもの読書推進を行うことが明記されました。その「子どもの読書活動推進法」により、4月23日が「子ども読書の日」と定められました。

今年の読書集会では、2007年度「子どもに読ませたい絵本」の第4位になった「としょかんライオン」（著者ミシェル・ヌードセン、挿絵ケビン・ホークス、日本語訳福本友美子）の読み聞かせを行いました。体育館のスクリーンに絵本のページを映して、2年生のボランティアが大変上手に読んでくれました。読み聞かせをしてくれたのは、昨年度から各クラスで朝読書の時間に読み聞かせ活動を担当していた生徒8名です。とてもわかりやすい、心温まる内容の絵本を豊かな表現力で読み聞かせてくれました。また、聞いている他の子どもたちも最後まで、まじめにそして楽しそうに聞いていました。この絵本には、「きまりってなんですか？」という作者からのメッセージが隠されています。そもそもきまり（ルール）とは何でしょうか、何のためにあるのでしょうか、私もあらためて考えてみました。きまりとは、その場に所属するみんなが、安心に心地よく過ごすための手段の一つだと思います。みんなが心地よく過ごすためには、状況に応じて相手の気持ちを察し、よく考えて行動することが求められます。図書館が大好きな主人公のライオンは、館長のメリウェザーさんを助けるために、図書館のきまりを破ってしまいました。時には、緊急のわけがあって、きまりをまもれない時もあります。小学生でもわかる「きまり」について考え、こんな時どうしたらいいのかな？と考えさせ、その答えがはっきりと書かれている、とてもわかりやすいお話でした。8名の皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。なお、1月に実施した、さいたま市学習状況調査の結果、大宮西中の子どもたちは、「読書が好きですか」という設問に対して、「好き」と答えた子どもの割合が、さいたま市の平均を大きく上回っていました。今後も、これらの読書の活動を通して、心豊かな読書が好きな子どもたちの育成を推進してまいります。

大型連休が終わると、1年生にとっての初めての中間テスト（12日）、そして大きな学校行事である体育祭（20日）、さらに3年生にとって最後となる学校総合体育大会が予定されています。これらの行事を通して、子どもたちはさらにたくましく成長してくれると思います。今後も保護者の皆様や地域の皆様との連携を一層深めて、充実した教育活動を進めて参りたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

